

宗像市社会福祉協議会

出前講座メニューブック

【この出前講座のメニューは、宗像市ルックルック講座にも掲載しています】



社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

平成29年4月

出前講座メニュー

【この出前講座のメニューは、宗像市ルックルック講座にも掲載しています】

No.	講座名	受講料	子ども メニュー	備 考
1	赤い羽根共同募金って何?	0 円	—	10～60人程度
2	「社協ってなに? どんどこ?」	0 円	—	10～50人程度
3	「福社会ってなに?」	0 円	—	10～50人程度
4	地域の助け合い・支え合いを考える ～見守りネットワーク入門～	0 円	—	10～30人程度
5	地域の助け合い・支え合いを考える ～ご近所支え合いマップづくり入門～	0 円	—	ホワイトボード又は黒板必要 10人程度
6	地域の助け合い・支え合いを考える ～福祉座談会～	0 円	—	一般成人対象/10～30人程度 ホワイトボード又は黒板必要
7	暮らしの安心をサポートします ～地域福祉権利擁護事業～	0 円	—	10～30人程度
8	遊びの中から発見がいっぱい! ～出張おもちゃ図書館～	0 円	有 (幼児～ 中学生、 保護者同 伴)	10～50人程度 広い会場 机・イス・マイク(内容によって必 要)原則:月・火・水・金曜の平日 (実施日相談応ず)
9	ボランティア活動の世界へ ～ボランティアって、な～に?～	0 円	有 (小学校 高学年～ 高校生)	10～50人程度 机・イス・マイク・スクリーン・プ ロジェクター・DVD再生機など(内 容によって必要)
10	みんなにやさしい福祉教育 ～高齢者疑似体験～	0 円	有 (小学校 高学年～ 高校生)	10～30人程度。 コース設定・必要備品等について は、事前に打ち合わせが必要。
11	みんなにやさしい福祉教育 ～車イス体験～	0 円	有 (小学校 高学年～ 高校生)	10～40人程度 コース設定・必要備品等について は、事前に打ち合わせ必要。
12	みんなにやさしい福祉教育 ～アイマスク体験～	0 円	有 (小学校 高学年～ 高校生)	

■1■ 赤い羽根共同募金って何？

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」として毎年実施されている、市民のやさしさや思いやりを届ける募金運動です。

この講座では、赤い羽根共同募金の取り組みや使い道などについてご紹介します。

■2■ 社協ってなに？どんなところ？

社会福祉協議会（通称：社協）は、社会福祉法に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心的な団体」として規定されている「社会福祉法人（民間団体）」です。

社協は地域の皆さまが安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざして、様々な

活動を行っています。本会が行う事業や取り組み等についての紹介を目的とし、この講座を行います。



■3■ 福祉会ってなに？

「福祉会」とは、暮らしの中にある地域の福祉課題に対してそこで暮らす方々の地域の「つながり」を活かしながら取り組む住民主体の組織です。宗像市には、地区を単位とした「地区福祉会」自治会を単位とした「小地域福祉会」が設置されています。福祉会の仕組みや活動内容等についての紹介を目的とし、この講座を行います。

●当日の講座の流れ

※事前に当日の内容・流れの打ち合わせを行います。

■宗像市の現状について

■福祉会ってなに？

■福祉会ってなに？（地区福祉会・小地域福祉会について）

■福祉会の財源・活動について

■4■ 地域の助け合い・支え合いを考える ～見守りネットワーク入門～

見守りネットワーク活動は、住民同士で支え合う「互助」の取組でもあります。

住民同士がさりげなく気づかいあい、困ったときに遠慮なく助けを頼めるような地域社会づくりが求められています。

地域で暮らす誰もが、同じ立場で、互いに助け合う関係性の中で、見守りが行われることが何より大切です。この講座では、地域の見守りネットワーク活動の仕組みや取り組みについて学習します。

■5■ 地域の助け合い・支え合いを考える ～ご近所支え合いマップづくり入門～

一人暮らし高齢者の増加、少子化に伴い、地域の支え合いが必要とされています。

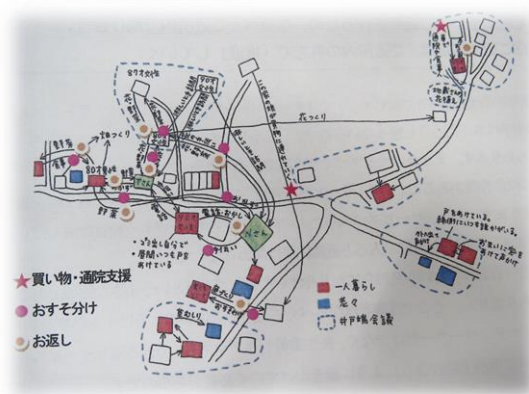
地震などの災害時には、ご近所での助け合いが必要不可欠であり、いざという時助け合うには、普段から交流を深めておくことが大切です。

そこで「ご近所支え合いマップ」という手法を使って地域づくりをしていきます。地域にどんな福祉課題があり、住民はどう対処しているのか…。その結果をもとに、これからどんなことに、どんなふうに取り組んだらいいのかを一緒に考えていきます。

●当日の講座の流れ

1. ご近所支え合いマップの目的や活用について
2. マップの記入方法について
3. ご近所支え合いマップをつくってみましょう
4. 見えてきた地域の課題について話し合しましょう

5. 地域課題の解決に向けてのまとめ



「支え合いマップ」の一例

■6■ 地域の助け合い・支え合いを考える

～福祉座談会～

福祉座談会とは、地域住民のみなさんが地域にどのような課題があるかを考え、話し合う場です。みんなが安心して暮らせる地域づくりの第一歩として地域の助け合い・支え合いについてみなさんで自由に話し合ってみませんか。



■7■ 暮らしの安心をサポートします

～地域福祉権利擁護事業～

高齢や障がいのため判断能力が不十分で、
日常的な金銭管理などに不安のある方々が、
住み慣れた地域で安心して暮らせるお手伝いに「ライフサポート事業」や「日常生活自立支援事業」があります。

この講座では、この事業の内容について詳しくご紹介します。



■8■ 遊びの中から発見がいっぱい！～出張おもちゃ図書館～

「障がいのある人や子どもに、おもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを」という願いを込めた講座です。

布や木でつくられたおもちゃや集団遊びなど、アイデアと愛情いっぱいのおもちゃがたくさん持参して、「おもちゃ図書館」が、みなさんのもとに出かけていきます。ボランティアスタッフといっしょに楽しく遊びましょう！！



■9■ ボランティア活動の世界へ

～ボランティアって、な～に？～

昨今、わが国の各制度見直しや生活課題を抱え、何らかの支援を必要としている人を地域で包括的に支え合っていく仕組みづくりが推進される中、ボランティア活動に対する期待はますます高まっています。

ボランティア活動を始めようと考えている人、すでに活動しているボランティアに関する歴史や心構え、現状など基本を学んで、自分に合ったボランティア活動スタイルを見つけてもらうことを目指しています。

■10■ みんなにやさしい福祉教育 ～高齢者疑似体験～

高齢にともなう身体の変化や、高齢者の特性、脳や心の変化などの話と、高齢者疑似体験セット「もみじ箱」を着用した体験を通して、高齢者の身体や気持ち、日常生活の不便さなどを学習します。



■11■ みんなにやさしい福祉教育 ～車イス体験～

車いすの部位の説明や、使い方、地域で困っている人を見かけたときのお手伝い(介助)の仕方、また「車いすは、道具ではなくその人の足の代わり」など、車いすの体験を通じて、車いすに乗っている人の立場を理解するとともに、車いすを利用している人のお手伝いの方法について学習します。



■12■ みんなにやさしい福祉教育 ～アイマスク体験～

アイマスク体験では、全く見えない時の体験をし、体験を通じて目の不自由な人の立場やお手伝い(手引き)の仕方を学習します。

宗像市社会福祉協議会 出前講座 申込書

年 月 日

講座番号		講座名	
------	--	-----	--

団体名			
ふりがな		住 所	
申込者			
電話番号		FAX	
E メール			

開催目的			
希望日時 第三希望までご記入ください。	第 1 希望	年 月 日 () 曜日 時 分 ~ 時 分	
	第 2 希望	年 月 日 () 曜日 時 分 ~ 時 分	
	第 3 希望	年 月 日 () 曜日 時 分 ~ 時 分	
参加人数	人	会 場	
その他 要望や参加者の特徴など			

申込み 問合せ先	社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会 地域福祉係 〒811-3437 宗像市久原 180 番地 メイトム宗像内 電話 0940-37-1300 FAX0940-37-1393
-------------	--

■お申し込みは、上記へご持参いただくか、郵送・FAX にてお願いいたします。

■講座内容に応じて、事前に当日の内容・流れの打ち合わせを行います。